



# 個室ユニット 推進協ニュース Number 131



- 1面 個室ユニットのさらなる評価を目指す  
30年度改定の大枠決まる  
新年のご挨拶 (赤枝雄一会長)  
「充実財産なし」9割  
国政ニュース
- 2面 新年のご挨拶  
(副会長、委員長、事務局長)
- 3面 新年のご挨拶 (支部長)
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト  
取組紹介【燦燦】岐阜県  
新規入会施設のご紹介  
用語解説  
【地域医療介護総合確保基金】  
【介護保険の調整交付金】  
今後の予定

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

## 個室ユニットのさらなる評価を目指す

### 研修、ユニット型への改築などを重要テーマに 「推進協ニュース」スカイプ編集会議

30年度介護報酬改定は改定率(10.54%)が示され、正念場を迎えている。仕事始めの1月4日、全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協、赤枝雄一会長)の事務局はスカイプを使って「推進協ニュース新年号」の編集会議を開き、対応策や編集方針などを話し合った。当面、ユニットケア研修の自治体契約の推進や、地域医療介護総合確保基金の運用改善、外国人介護人材の実態把握などを重要テーマとすること。また実現のため自民党個室ユニットケア推進議員連盟(石原伸晃会長)と密に連携するなどして国への働き掛けを強めることを確認した。

### ユニット型個室改築の課題

ころが多く、自治体への働き掛けも重要だと補足した。

栗野副会長は「老朽化した施設をユニット型個室に改築したいと思っても、改築のための施設整備の補助金が無かったり、少なかりという状況があり、改修に踏み切れないという話が多くある。建て替え費用の支援を充実させるべきだ」と指摘した。

### 研修契約、外国人材の課題

また栗野副会長は「ユニットリーダー研修を多く受講している施設に対して評価する仕組みにすれば、受講しやすくなる」と提案。八木事務局長補佐は「ユニットリーダーを2名配置する基準はあくまで通過点で、ユニットごとに受講したリーダーを配置することは努力義務になっている」と補足説明した。

赤枝事務局長は「ユニットケア施設管理者研修と施設長研修を将来的に一本化する」と良い。また課長通知にある50項目の評価基準をユニット型施設を評価する指標の1つにする、実地研修施設が増えるのではないかと提案した。

藤村介護保険委員長は「福岡の(外国人向けの)日本語学校は日本語の勉強をしながら、週28時間のバイトとして施設で受け入れてもらう取り組みが始まっている」と外国人雇用の実例を説明した。

井手室長は「実地研修施設を増やし、地元で実習できるようにしたい。現在、委託契約していない自治体の施設にもアプローチしている」と説明した。

これらの対応について「推進協ニュース」などを通じて会員に広報することにした。



「推進協ニュース」スカイプ編集会議  
福岡2拠点と静岡1拠点を接続

スカイプを使った編集会議には、赤枝会長のほか、栗野裕治副会長(総務企画広報委員長)、赤枝真紀子事務局長、藤村二朗介護保険委員長、井手明利ユニットケア推進事業推進室長、栗田淳二監事、八木郁夫事務局長補佐、榎原多計志顧問、山崎富美子事務局員が出席。正念場を迎えた30年度改定や研修契約、外国人雇用など重要課題の対応策などを話し合った。

赤枝会長は「ユニットケア研修の委託契約を増やすには都道府県などへの働きかけが必要だ」「基金から多床室へ出ている改修費は完全個室ユニットへの意向のみとすべきだ」と述べた。榎原顧問は「基金の使い道は知事など首長の裁量によると

# +0.54%

## 30年度改定の大枠決まる

### 準個室の名称を変更 医療連携を強化

政府は30年度介護報酬をプラス0.54%とすることを閣議決定した。プラス改定は6年ぶり。安倍内閣が掲げる「介護離職ゼロ」の推進や介護サービス事業の経営悪化などに配慮した。また社会保障審議会介護給付費分科会は30年度改定に関する審議報告をまとめた。これを受けて厚生労働省は1月内にも各サービスの単位数を分科会に示す方針。

### 経営悪化に配慮

12月18日、麻生太郎財務相と加藤勝信厚生労働相は折衝の結果、30年度の介護報酬を0.54%引き上げることと合意した。介護職員処遇改善のための臨時改定(期中改定)を除き、プラス改定は24年度(プラス1.2%)以来。

プラス改定に踏み切った大きな理由には、29年度介護事業経営実態調査の結果、相次ぐ介護報酬のマイナス改定や介護人材確保による人件費の高騰などが影響し、収支差率が平均3.3%と26年度の7.8%から大幅に下落するなど経営が悪化していることもある。

自治体への自立支援インセンティブ付与の財源問題については、介護保険の調整交付金付ではなく、当面、創設する交付金を使って運用することで合意した。

### 準個室 名称変更へ

推進協が強く要望している準個室の名称変更(ユニット型個室の多床室)を要望等については「実態を踏まえ、名称を変更する」とし、厚労省は1月中旬にも新名称を公表する見通し。

### 診療報酬は本体プラス

同時改定される診療報酬は全体▲0.9%のマイナス改定だが、本体部分(医師への技術料など)は+0.55%。障害福祉等は+0.47%。

### 医療ニーズ対応を評価

12月18日、介護給付費分科会は審議報

### 新年のご挨拶

会長 赤枝雄一 兼愛会 理事長



明けましておめでとうございます。当協議会も設立して今年で13年目を迎えます。皆様のお

報酬を求めていきたいと思っております。また、今年度はさらなるユニットケアの推進を図り、ユニットケア研修の委託契約が未契約の都道府県等に対し、精力的に契約締結のお願いに参る所存です。ユニットケアが適正に評価されるよう尽力して参ります。

力添えに厚く御礼申し上げます。さて、今年度は3年に一度の「介護報酬改定」もあり、ユニット型個室の更なる推進、介護報酬の見直しなど当協議会として厚労省をはじめ各団体に「インセンティブの働く介護報酬」を訴えて参りました。

本年も会員の皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご多幸・ご健勝をお祈り申し上げます。

昨年末に介護報酬が0.54%引き上げられることになり、改善の一歩だと考えています。これからも適正な介護

## 国政ニュース

### ◎30年度政府予算案を決定

12月22日 閣議決定 国会審議へ  
一般会計の総額は97兆7128億円(前年度当初予算比0.3%増)で過去最大。うち厚労省の予算額は31兆1262億円(1.4%増)。

介護関連では▽介護保険制度による介護サービスの確保2兆7622億円▽介護ロボット開発等加速化事業3.7億円▽地域医療介護総合確保基金・介護分(介護施設等整備、介護従事者確保)483億円など。

### ◎人口40万人減る

12月22日 29年人口動態統計  
厚労省の「29年人口動態統計の年間推計」によると、出生数は94万1000人、死亡数134万4000人、自然減は40万3000人で戦後最多。

## 「充実財産なし」9割 社福改革の実施状況

社会福祉法が改正され、社会福祉法人に社会福祉充実財産の有効活用や「会計監査人の設置」(一定規模以上)が義務付けられたが、厚労省は12月18日、社会保障審議会福祉部会に29年実施状況調査の結果を報告した。

【社会福祉充実計画】29年7月1日現在、社会福祉充実計画の財源に充てるべき充実財産が「あり」と回答したのは2025法人(12%)、「なし」1万5392法人(88%)。

【会計監査人の設置】収益30億円超、負債60億円超の特定法人に義務付け。29年10月1日現在、全法人数2万6655人のうち特定法人は322法人、任意設置法人81法人、合計403法人(全体の2%)。

# 謹賀新年



副会長 諸隈 正剛  
佐賀支部長  
天寿会 理事長

3年前の介護報酬改定はマイナス2・27%であり、その結果収支差率は改定前の8・7%から1・6%と大幅に低下し、4割を超える特別養護老人ホームが赤字に陥りました。また、平成29年度より社会福祉法人制度改革が施行されました。そんななか、内部留保の適正額を判断する基準とされる「社会福祉充実残額」を有する法人は1割未満となっています。このことは社会福祉法人の持続可能性が極めて脆弱な状態にあることを示しています。

平成30年度は医療報酬と介護報酬が同時に改定されますが前回のマイナス改定を回復できるか問われていると思います。来年初には消費税率10%が予定されています。消費税率アップと法人税率下げはセットで施行されてきた歴史があります。消費税は日本の社会保障を充実することが目的で設けられたと理解しています。



副会長 野邊 正涼  
黒潮会 理事長

昨年は私達社会福祉法人にとっては制度の大改革がなされた年であり、厚生労働省の経過報告によりますます順調に改革の方向での取り組みがなされてきたと聞いております。

今年4月1日より診療報酬、介護報酬、障害者報酬とトリプル改定がなされます。昨年10月厚生労働省による経営実態調査の結果、特養の収支差が1・6%、赤字経営の特養が33・8%の数字が出てきております。

私達推進協としてもこの実態を踏まえ、厚生労働省とのヒアリングの中で赤枝会長をはじめ藤村介護保険委員長が個室ユニット型の特養には、インセンティブを付与すべきだと強く要望してきています。今年も課題は多い年になるかと思いますが、それぞれの地域においてしっかりと足を地につけて、その地域における社会資源のひとつとして、会員の皆様方の取り組みを期待しております。



副会長 高木 邦格  
国際医療福祉大学 理事長

本年4月には、いよいよ医療・介護の同時改定が行われます。この改定は、2025年問題の推進を主眼とした大きな変更が加えられます。改定率については一部明確な報道もありますが、社会保障の抑制方針が続く中での改定であることを考えると、運営面からは楽観視できるものではないと考えます。昨年の社福制度改革本格施行、本年の同時改定と、厳しい環境変化の続く中、人材不足という最大の課題も抱えつつ、会員の皆様方は良質なサービス提供に日々苦心されていることと存じます。

超高齢社会で求められる医療・福祉の実現に向けて、微力ではございますが当協議会の活動に尽力して参りますので、本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副会長 栗野 裕治  
総務企画・広報委員長  
八生会 理事長

明けておめでとうございます。2018年は介護施設にとりまして大きな転換期になると思います。介護報酬・診療報酬同時改定では、「看取り介護」「自立支援」「介護ロボット導入」など様々な見直し、新たな取り組みが示されており、施設関係者はその対応をどのように取り組むかが大きな課題であります。

特養は現在4割が赤字経営になっております。このまま状況が変わらなければ、すべての高齢者介護サービスは衰退してしまうでしょう。当協議会としては、今年も個室ユニット型特養の経営安定はもとより、介護サービスの質を向上させるためにさらなる努力をまいります。本年もどうぞご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。



副会長 田伏 清  
全国支部長会代表、大阪支部長  
バルツア事業会 理事長

新たに副会長の任を拝命し身の引き締まる年となりそうです。今年も全国の支部長様はじめ各会員様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。昨年の全国支部長会及び各支部からの報告は、もう完全に危険水域に入ってしまった人材不足についての討議内容が大半を占めました。

そして、現在は、医療介護の分野に留まらず、あらゆる産業においても人材の不足が深刻化しています。そんな中に於いても、各施設様が取り組んでおられる人材確保に関する事例などは、とても参考になるものがあります。何処かの映画のように正に「事件は、現場で起きてるんだ！」であり、本場に現場の必死さが伝わって参りました。利用者皆様の介護支援は「待った」が出来ません。今年もメンバー皆様の取り組みや知恵を拝借させて頂き、我ら個室ユニット型施設推進協議会を盛り上げて行きたいと存じます。



副会長 安江 紀子  
幸紀会 理事長

昨年は「全国研修大会in岐阜」にて、皆様のあたたかい御協力をいただき、誠にありがとうございました。また、赤枝会長のご尽力の中で、今年、当協議会も設立13年目を迎えました。ますます、個室ユニット型施設の充実をはかっていかなければ、と心を新たに致して居ります。

ご利用者様、ご家族様から個室ユニットケアに対する高い評価をようやくいただけるようになったと感じて居ります。しかし、個室ユニットケアの推進には、一段と安定した職員の確保が不可欠になって参ります。雇用が厳しい昨今ですが、ユニットケアのすばらしさを広げて、一人でも多くの職員の採用につなげていく努力をして参りたいと存じます。既存の觀念にとらわれない柔軟な発想の中で、多種多様な働き方にも、取りくんでゆく必要もあるかと存じます。高齢社会の明るい未来に向けて、会員相互の強い結束のもと、心を一つに努力して参りたいと存じます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



介護保険委員長 藤村 二郎  
久住会 理事長

今年度は、医療・介護報酬同時改定ですが介護給付費分科会においても、徐々に方針が示され平成30年3月には諮問答申及び告示が予定されております。今回の報酬改定の議論の特徴は、基準省令における人員基準などの緩和が見受けられます。単に報酬のみを向けがちですが、兼務関係や加算要件の中味も注視する必要があると思われまます。

会員施設の皆様におかれましては、事業計画や予算作成、役員会開催などご多忙な状況は続きますが、ご自愛頂ければと思います。



研修委員長 井手 明利  
ユニットケア推進事業推進室長

職員の知識・技術を高めQOLの向上を目指す中、施設外研修への参加が十分できないとの会員施設からの声を受け、昨年10月から会員施設へ出向いての研修会（前研修）を実施してきました。今までに8施設へ出向き、ユニットケアや個別ケア、施設運営についてお話をさせていただきました。今後も継続して行っていきます。

また、ユニットケア研修事業の施設管理者及びユニットリーダー研修カリキュラムが4月から変更となります。管理者はリーダーの職務を理解共に考えていく、リーダーはマネジメントの理解や人材育成など施設運営に関わっていくものとなりました。テキストも統一したものとなりより一体となった施設運営が求められる内容となっています。今後も皆様の声に応えられるような研修を企画してまいります。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



事務局長 赤枝 眞紀子  
しょうじゅの里三保 施設長

当協議会で実施している「ユニットリーダー研修事業」も年を重ねるごとに受講生からの評価も高くなって参ります。これも皆様のご支援によるものと感謝申し上げます。

ユニットケアの良さを広げると共に会員の皆様抱える諸問題について会員間のネットワークを活用し情報共有・問題解決していけるよう事務局として働きかけていきたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

# 支部長挨拶



北海道支部長 今千尋

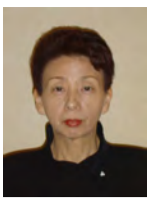
函館大庚会 常務理事



昨年より北海道支部長を拝命いたしました。社会福祉法人制度改革や介護報酬改定の動向を見据えながら、個室ユニットでのケアが目指すべきものを、研修を通して考えていきたいと存じます。

宮城支部長 真壁もり子

南方ナーシングホーム翔裕園 施設長



今回の改正で老健施設は地域拠点となる施設、機能維持、回復の役割を担う施設、中間施設から地域包括ケアシステムの中核施設として取り組んで参ります。また宮城支部として会員施設の拡大に努めて参りたいと思っております。皆様の変わらぬご指導をお願い申し上げます。

茨城支部長 埜津雄

しらとり 施設長



今年度から「最高の笑顔をおあなたに」を法人理念とし、入居者様ご家族、職員さんが最高の笑顔になれるような個別ケアを目指しています。また、ユニットケアの推進、協会と支部の発展に微力ながら努めてまいります。

栃木支部長 薄井裕二

ころぼつくる 施設長



昨年より栃木支部長を拝命いたしました。推進協の推奨するユニットケア・個別ケアによる介護の質向上の一環で週休3日を実現いたしました。入居者様本位はもとより働く職員・経営・運営上も絶えず推進協と共に改善をしていきたいと思っております。

埼玉支部長 尾島朱美

関東福祉専門学校 校長



在留資格「介護」の創設を受け、介護の教育や実践の場においても変革の時代を迎えながら全国の会員施設様と連携を図りながらインターナショナルな介護福祉士を養成し人材確保に貢献する所存です。

千葉支部長 濱野直紀

さつまの里 施設長



共生型サービスを通じて、介護する側介護される側、支援する側支援される側という関係ではなく「共に生きる社会」の実現を目指したいと考えています。

東京支部長 佐々木亀一郎

元気村法人本部グループ 統括本部長



本年は報酬改定の年度ですが「時代に合った施設経営とは何か。仲間たち職員が誇りをもって続けることができるユニットケアとは何か」が再度問われるときだと思えます。本年も元気に変化化する社会の波を楽しみ心を忘れずに努力したいと思えます。

神奈川支部長 広嶋稔之

みんなと暮らす町 施設長



介護人材不足は同業者のみならず飲食店など他産業とも人材獲得競争となる時代になりました。また神奈川県内では入居者獲得の競争も出始めています。支部として環境を受け入れつつ質を担保する工夫を共有します。

新潟支部長 田中政春

長岡三古老人福祉会 理事長



今年度は診療報酬と介護報酬の同時改定を控え、医療・介護施策において大きな節目の年となります。介護事業所を取り巻く社会情勢は厳しく、施設経営や人材確保等の諸課題に対して県内会員施設と協力し取り組み、会員施設の拡大につながるよう努めて参ります。

福井支部長 山本武生

一乗谷友愛会 理事長



平成30年度の介護報酬改定を目前に、介護事業所ごとの工夫のみならず、地域との連携を含めた施設のあり方や、質の高いユニットケアが求められているように感じます。介護を取り巻く環境が厳しいなか、会員の皆様とともに困難を乗り越えて参りたいと思っております。

山梨支部長 功刀融

芳寿会 理事長



特別養護老人ホーム入所者の多くの方々は、医療にかかるとが多くなっています。介護と医療の連携から、介護療養型医療施設（介護療養病棟）の受け皿となる介護医療院が、平成30年4月を目途に発足します。

長野支部長 佐藤繁信

ハートフルケアたてしな 総合施設長



昨年9月に支部設立記念講演会「週休3日制導入で入職者増」を企画し、薄井講師はじめ栗野副会長並びに本部役員の皆様方に多大な後援を戴き盛大に開催できました。これからも会員増加と支部活性化を一步一歩前に進めていけるよう努めてまいります。

岐阜支部長 後藤喜代司

燦燦 施設長



「第11回全国研修大会 in 岐阜2017」開催準備で培った、岐阜支部会員間のネットワークをより密にし、「地域包括ケアシステム」の拠点を目指し、情報共有を図りたいと考えています。

静岡支部長 花木君子

梅香の里 施設長



介護人材の確保は大きな課題になっています。働き方改革を進めて介護現場が魅力ある職場づくりを発信していきけるよう努めていききたいものです。ケアの質向上に向けて静岡支部では2月に研修会を企画中です。会員増につながるよう尽力します。

愛知支部長 若月剛一

春生会 理事長



全世代型の社会保障が進められる中、サービスの受益者を含めた私たち高齢福祉に関わる者は、これまで以上に自助努力が求められるようになっていきます。そのような厳しい状況下、会員共助により互いの有益な情報を共有できるよう、取り組んでいきたいと考えています。

和歌山支部長 永山間夕美

緑風苑 施設長



平成30年度診療報酬介護報酬同時改定を踏まえ、医療と連携をとりつつ、利用者様の明るい暮らしを応援します。何事も「予防」が大事です。日常のちょっとした変化を見逃さず、予想して動く介護職の気付きを大切に、研修で知識を習得し現場に活かしていきます。

鳥取支部長 田中彰

賛幸会 理事長



看取りも含め特養での医療体制の強化が求められている。嘱託医に慢性疾患指導管理料、再診・外来管理加算、往診訪問診療料等の請求を認め、入所者が正当な医療を受ける権利（医療へのフリーアクセス）が守れるよう求めます。

島根支部長 杉原建

社会医療法人昌林会 理事長



利用者様の生活の場でサービスの質がより求められる時代になります。多職種が連携し力を発揮することにより安心して暮らせる生活環境や地域社会が実現できるものと考えています。今後もユニットケアの推進に取り組んでまいります。

広島支部長 山田忠義

かきつばた福祉会 理事長



今年四月からの改正について、安倍総理大臣の発言を聞いて、介護保険料・介護士の微増のようです。利用者様にご満足いただけるケアをさせていただくためにも、こ

れからも情報共有と外国籍職員の導入に協力して、日々の努力をしたいと思います。

山口支部長 江澤和彦

医療法人博愛会 理事長



2018年4月の惑星直列トリプル改定を控え、2025年から2040年の15年間を地域包括ケアシステムで乗り越え、国民の尊厳を保障し、若者や子供たちの未来を守る社会の実現を目指すため、推進協の皆様と共に歩んで参りたいと思っております。

徳島支部長 武久洋二

平成記念会 理事長



人間は集団で生活しているものの個人の時間は必須であり大切である。数年間にも及ぶ特養での生活が常時集団監視の4人部屋ではプライバシーはない。生活保護者といえども自宅なら個室である。特養はユニットであるべきである。

福岡支部長 牟田和男

誠和会 理事長



福岡支部の更なる活性化のため会員施設の拡大に努めるとともに、6年に1度の医療・介護報酬同時改定や人財確保・育成などについて、本年も皆様方と連携を図って参りたいと思っております。

長崎支部長 池原香

のぞみの杜 施設長



昨年の社会福祉法人制度改革に続き、介護報酬改定、地域包括ケアシステムの構築と取り組む環境は次々に変化しています。仕事と環境が合わず、職員が輝く支部活動を推進して参ります。

熊本支部長 小笠原嘉祐

リテライトホーム 理事長



昨年、社会福祉法改正に伴い、法人運営の在り方が大きく変化し、そして今年度は介護報酬の改定、第7期介護保険事業計画

がスタートする年でもあります。その中で、社会福祉法人として果たすべき役割を具体的に遂行してまいります。

大分支部長 柿本貴之

暁谷苑 施設長



介護報酬改定への対応、介護人材確保の課題等、本年も取り組むべき課題が山積しておりますが、個室ユニット型施設の良さを今一度確認し、地域で選ばれる施設を目標に支部活動に取り組んで参りたいと存じます。

宮崎支部長 金丸達也

望洋の郷 施設長



昨年より宮崎県支部長をしております金丸と申します。推進協のご指導の下、セミナー実施や情報交換等を通じ、皆様との繋がりを持つことで、個別ケアの向上に繋がればと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

鹿児島支部長 川島葉留美

慈眼寺園 施設長



高齢者の安全で安心できる介護福祉施設を目指し、全国個室ユニット型施設推進協議会の活動が必要となる年になると推察されます。大変、厳しい時期を迎えますが、赤枝会長の指揮の下で全国の皆様とより良い社会を目指し、頑張る所存です。

沖縄支部長 上里絹代

東雲の丘 理事兼研修部長



今年、第12回全国個室ユニット型施設推進協議会の全国大会が沖縄県で開催されます。本部事務局の皆様と各都道府県会員施設様をはじめ、非会員様を含めて、「ユニットケアの質の向上」に寄与できる大会になるよう頑張りたいと思っております。皆様のご参加とご協力を切にお願い申し上げます。



# 介護ニュース・ダイジェスト

12月7日～12月25日

介護に関する政府機関や民間団体の動きを掲載しています。詳細は厚労省や各団体のHPなどをご覧ください。

## ■運営基準見直しへ

**（12月1日）第154回給付費分科会**  
居宅介護支援（追加分）や運営基準案を大筋し、全体の議論を終えた。

## ■居宅介護支援

▽退院・退所時に医療機関と連携したり、末期がん患者に頻回なモニタリングに取り組みたりした事業所を「特定事業所加算」でさらに評価する（要件：※ターミナルケアマネジメント加算〔仮称〕を算定していることなど）※末期がん在宅死亡した利用者へ積極的に関与した事業所を評価する新加算。

## ■運営基準の改正

▽入所者の急変に備え、配置医師による対応方針の策定を義務付ける▽身体的拘束等適正化を図るため①理由などを記録②施設内の対策委員会を3カ月に1回開催③指針を整備④職員研修を実施する。

## ■基準改正案のパブコメ開始

**（12月4日）**

厚労省は30年度介護報酬改定に合わせて改正する「指定居宅サービス等の事業の人員設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令案」のパブリックコメントを始めた。特養の関係では配置医師による入所者急変の対応方針の策定などが主なテーマ。

## ■審議報告案を提示 審議大詰め

**（12月6日）第155回給付費分科会**  
厚労省の審議報告案を大筋で了承。審議は大詰めを迎えた。

## ■審議報告案

特養関連を抜粋

「医療ニーズへの対応」▽早朝・夜間または深夜に配置医師が入所者を診察する医療提供体制を新たに評価（新加算）▽同一敷地内でユニット型と従来型が一体的に運営されている場合、双方で算定可▽入所者の病状急変に備え、配置医師による対応方針を策定（義務）▽前述の医療提供体制を整備して実際に看取った場合、より手厚く評価する。

▽施設系サービス（重複除く）▽外部リハビリ専門職との連携を評価する（新加算）▽排泄介護、褥瘡の発生防止を評価する（新

加算）▽口腔衛生管理加算や栄養マネジメントなどを拡充・要件緩和する▽見守り機器の導入を夜勤職員配置加算で評価▽身体拘束未達成施設の減算幅を引き上げ▽介護職員改善加算（Ⅳ）と（Ⅴ）を廃止▽「ユニット型個室」の名称を変更する（新名称は未定）など。

## ■介護福祉士8万円賃上げ

**（12月8日）**  
政府は実務経験10年以上の介護福祉士の賃金を8万円相当の処遇改善などを行う「新しい経済政策パッケージ」（2兆円規模）を閣議決定した。4万7000円は手当済み、残り3万3000円を上積みする。介護関連では、介護福祉士の処遇改善のほか、実務者研修を修了して介護福祉士試験に合格した外国人技能実習生に在留資格を付与（人づくり革命）、自立支援介護や介護ロボット導入などを報酬や要件で評価する（生産性革命）。

## ■福祉改正で新指針

**（12月12日）**  
加藤勝信厚労相は「社会福祉法に基づく市町村の包括支援体制整備に関する指針」を「官報」で公表した。市町村が「住民に身近な圏域」で行う事業の内容や留意点、拠点、担い手、支援体制などを示している。

## ■給付費分科会が審議報告書

**（12月14日）156回給付費分科会**  
介護給付費分科会は30年度介護報酬改定の在り方に関する審議報告をまとめ、実質審議を終了した。厚労省は報酬改定率の決定を受け、来年1月、サービスごとの新単価を提示する。居宅系では①「頻度の多い訪問介護」が一定以上の場合、ケアプランの提出を義務付ける②大規模デイサービスの報酬引き下げ③ターミナルケアマネジメント加算新設や創設など。特養関連では①時間外緊急診察に加算新設、常勤配置医師加算の要件緩和、外部リハ機関連携を評価②褥瘡、排泄の介護を新加算で評価③看取り加算の要件緩和④見守り機器（介護ロボット）導入を夜勤職員配置加算で評価などを盛り込んだ。推進協が強く求めている「ユニット型個室」の名称変更は新名称を検討する。

## ■福祉に「公益的取り組み」求め

**（12月15日）困窮者支援部会**

生活困窮者自立支援及び生活保護部会は生活困窮者への支援策などを提言する報告書をまとめた。社会福祉法人の役割として創意工夫を凝らした支援を盛り込んだ。

## ■プラス0・54%で決着へ

**（12月15日）介護報酬改定率**  
政府、与党は30年度介護報酬の引き上げ率を0・54%とすることで合意した。加藤厚労相と麻生財務相の合意を経て30年度予算案編成で正式決定される。介護報酬プラス改定は6年ぶり。前回27年度度マイナス改定（▲2・27%）などによって介護事業経営実態調査の収支差率が3・3%にとどまるなど経営が悪化。与党からも「引き上げが急務」とプラス改定を求める意見が強まっていた。

## ■介護報酬+0・54で合意

**（12月18日）財務・厚労相折衝**  
麻生太郎財務相と加藤勝信厚労相の折衝の結果、30年度介護報酬を0・54%引き上げることで合意した。同時に、診療報酬を全体改定+0・19%（内訳は医科+0・63%、薬価▲1・65%など）、障害福祉サービス等の報酬を0・47%、それぞれ引き上げることも合意した。

## ■30年度改定の審議報告を公表

**（12月18日）厚労省**  
厚労省は社会保障審議会介護給付費分科会の「30年度介護報酬改定に関する報告書」を公表した。特養関係では▽夜間、緊急時対応への加算▽外部リハ職の受け入れ▽褥瘡防止や排せつ介助などの評価▽見守り機器導入を評価などが盛り込まれた。

## ■会計監査人の設置率2%

**（12月18日）福祉改革の状況調査**  
厚労省は社会保障審議会福祉部会に「社会福祉法人改革の29年実施状況」を報告した。社会福祉充実計画の財源に充てるべき充実財源が「あり」と回答したのは2025法人（12%）、「なし」が1万5392法人（88%）。会計監査人を設置した特定法人（収益30億円超、負債60億円超）は322法人、任意設置法人81法人、合計403法人で全体の2%にとどまっている。

## ■優先すべきデータ項目を整理

**（12月21日）科学的介護検討会**

第4回価格の裏付けに基づく介護に係る検討会は、32年度から始める本格的なデータ収集に向けて、30年3月末までに必要度の高いデータ項目を整理することを決めた。

## ■30年度政府予算案を決定

**（12月22日）閣議決定**  
政府は平成30年度政府予算案が閣議決定した。一般会計総額は97兆7128億円で過去最大。うち厚労省予算額は31兆1262億円（1・4%増）。介護関連では▽介護保険制度による介護サービスの確保2兆7622億円▽介護給付費国庫負担金1兆8829億円▽介護ロボット開発等加速化事業3・7億円▽地域医療介護総合確保基金・介護分（介護施設等整備、介護従事者確保）483億円など。新規事業は▽保険者機能強化策推進交付金（自立支援や重度化防止に取り組み自治体へ支援）200億円▽科学的介護データ提供用データベース構築事業2・7億円など。

## ■人口減 40万人突破

**（12月22日）29年人口動態**  
厚労省が公表した「29年人口動態統計の年間推計」によると、出生数は94万1000人、死亡数134万4000人、自然減40万3000人で戦後最多。

## 【用語解説】

### 地域医療介護総合確保基金

「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」「地域包括ケアシステムの構築」のため、消費税を財源とした各都道府県に設置された基金。事業対象は「①地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備の整備②居宅等における医療の提供③介護施設等の整備④医療従事者の確保⑤介護従事者の確保」に関する事業の5つ。③の事業では多床室から個室への改修も対象となっている。医療機関や介護サービス事業者などは都道府県または市町村に申請し、交付を受ける。

### 介護保険の調整交付金

後期高齢者の比率や所得階層の低い高齢者の比率が高くて、市町村が介護保険制度が運営できるように国が市町村に交付する交付金のこと。これにより、市町村間の財政力の不均等を調整している。

岐阜県岐阜市の特別養護老人ホーム燦燦です。

この度、県立岐阜高等学校音楽部OB合唱団の皆様をお招きして、「クリスマスコンサート」を開催いたしました。同合唱団の皆様は、現役（高校生）のころから、毎年入居者様に暖かい触れ合いと素敵な歌声を届けていただいております。今年で16回目を迎えます。今年も、クリスマスメロデーや冬にちなんだ童謡、青春時代に流行った美空ひばりさんの「愛燦燦」など約20曲を披露していただき、入居者様と一緒に歌ったりハンドベル演奏したりして、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

社会福祉法人幸紀会  
特養 燦燦（岐阜県）  
施設長：後藤善代司



歌声は、さすが現役時代に全国合唱コンクール全国大会で「金賞」や「文部科学大臣奨励賞」など数多く受賞している皆様で、入居者様だけでなく、私たちスタッフも時間を忘れてうっとり聞き惚れていました。（施設長：後藤善代司）



サンタのいで立ちでクリスマスメロデーなどを披露



岐阜高OB合唱団を招いてクリスマスコンサート

歌声をプレゼント  
12月18日の岐阜新聞に掲載

## 新規入会施設のご紹介

### ◆（特養）飯島

支部名 秋田支部  
法人名 社会福祉法人友遊会  
法人代表者 理事長 稲庭千弥子  
施設代表者 施設長 石井鈴子  
住所 〒011-0917  
秋田市飯島道東1丁目5番1号  
電話 018(853)8930

### ◆（特養）はりがや夢希の杜

支部名 栃木支部  
法人名 社会福祉法人朝日会  
法人代表者 理事長 青柳勝男  
施設代表者 施設長 青柳正寛  
住所 〒321-0147  
宇都宮市針ヶ谷町654番地  
電話 028(615)7146

## 今後の予定

### 第3期ユニットリーダー研修

- 1月10日（水）～12日（金） 福岡会場（リファレンス駅東ビル）
- 1月17日（水）～19日（金） 名古屋会場（ウインクあいち）
- 1月24日（水）～26日（金） 東京会場（羽田タートル）

### 第2回ユニットケア施設管理者研修

- 2月21日（水）～23日（金） 大田区産業プラザ（東京）

### 介護報酬改定セミナー

#### 経営実態調査報告会

- 2月28日（水）大田区産業プラザ（東京）
  - 3月2日（金）エル・おおさか（大阪）
- 【プログラム（予定）】離職させないための労働環境改善、週休3日制導入事例、介護報酬改定セミナー、経営実態調査報告会
- 平成29年度第3回理事会  
3月16日（金）大田区産業プラザ（東京）